

肺非結核性抗酸菌症(肺NTM症)とは

- ・ 肺非結核性抗酸菌症とは、非結核性抗酸菌(NTM)の感染により、肺に炎症が起こっている状態である。
- ・ 非結核性抗酸菌(NTM)の中で、MAC(マック)菌が約80%を占める。
- ・ 近年、40歳代から60歳代の女性の方を中心に患者さんの数が増えている。
- ・ 結核と異なり、人から人へは感染しないとされている。
- ・ 診断には、複数回の菌の検査が必要である。